

KANTOU

かんとう



成田山公園の紅葉（千葉県）

特集／持続可能な経営を
推進するための調査サマリー
▶六地区懇談会（東京）
▶委員会トピックスー経営革新委員会

秋号

経営革新委員会 鹿児島研修会



たまたて箱車内



たまたて箱車窓から



白水館・会議風景



西大山駅ホームからの開聞岳



長崎鼻から開聞岳をバックに



桜島フェリー



霧島神宮・本宮



霧島神宮古宮址の鳥居

巻頭言

この夏の酷暑に思う

8月後半になって 35 度以上が続く毎日が続き
いささか夏バテ気味で食欲ありません。

60 年ほど前、神田須田町に住んでいた頃には
エアコンもなく窓を開けて蚊帳を張って寝てい
たことを思い出し、まだ海風が涼しかったよう
な記憶があります。調べてみたところ 1965 年の
平均気温は 8 月で 26.7 度、9 月 22.2 度、10 月 16.9
度ということです。昨年の 8 月と比較してみ
ても平均気温で 2～3 度上がっていることになり
ます。今年東京の 8 月の最高気温のピークと思
われる 37.3 度でも 2～3 度上昇しております。と
にかく最高気温、最低気温の上昇が身に伝えま
す。昨年猛暑日が 9 日連続続きましたが、今年
は 8 月 26 日ですでに 9 日連続と並んでおります。
乳牛は暑さの為、立ち上がれなくなり肉牛とし
て売られてしまう、豚は餌を食べない為生育が
悪い、鶏も卵が小さくなる。コメ、野菜、果物
も同様のことが起きています。温暖化対策はや
はり必要です。

さて 7 月の紙・板紙需給速報が発表されまし
た。

紙・板紙の国内出荷は前年同月比 2.3% 減、6
か月連続のマイナス。グラフィック用紙は 7.5%
減。9 か月連続のマイナス。パッケージング用
紙は 0.4% 減、2 か月ぶりのマイナス。主要品種
は段原紙、衛生用紙を除きマイナス。紙・板紙
の輸出は前年同月比 18.4% 減。グラフィック用
紙は 35.6% 減。パッケージング用紙は 10.1% 減。
アジアを主体に減少とのことでした。アジア経



関東製紙原料直納商工組合
理事長

藤川 達郎

済の強い冷え込みを伺うことができるのではな
いかと感じます。

累計では紙・国内出荷は 1.6% マイナス。グラ
フィック用紙が 4.5%、パッケージング用紙が 0.4
% のマイナスとなっております。

数年来続いておりますが新聞用紙、印刷用紙、
情報用紙の落ち込みが顕著です。

アメリカの関税が 7 月に決着した感があり、株
価も上昇しておりますが、モノの動きを表す実
体経済に今後どのような影響を及ぼしていくの
か注意が必要と感じます。日本国内では実質賃
金が物価の上昇に追い付かず低下している影響
を受けて消費に結びつかず、暑さインフレとい
う言葉も聞き及びました。

まだまだ 9 月も高気温が続くそうですが、何
とか秋需に期待したいところです。

10 月から過去最高の上昇率で最低賃金が、上
がります。取扱量の減少下、インフレが進む中
で現在の市況が守られること、そして猛暑が早
く終了することを切に願います。

(2025 年 8 月 27 日記)

関東商組 理事会報告

令和7年度 第2回 理事会報告

開催日時 令和7年6月26日(木)
午後3時～4時30分
開催場所 組合会議室
出席者数 理事18名 監事2名

議事要旨

1. 古紙持ち去り関係

(1) GPS 追跡調査実施状況

正規ルート2件(4月理事会から本理事会の間)

2) 古紙買受業に関する法律案(仮称)要綱骨子

5月21日の資源リサイクル推進議員連盟総会にて提示された内容を説明

2. 各支部市況報告

(記載省略)

3. ヤード営業日・営業時間に関する支部別取りまとめ

休業日の設定は業界統一でなければ徹底しない。休業日を設定し、働きやすい環境をつくらないと若い人材が入ってこない。

今後の取組：年1回定点観測を行う。各支部長のリーダーシップを期待する。

4. 使用済み食用油の紙パックのリサイクルに係る関係3社からの回答

回答内容：コアレックス信栄(株)の技術力による限定的な取組であること。3社の協働を理解した自治体に対してのみ実施

理事会における意見：特殊なケースであることをきちんと発信すべき。今までリサイクルしている古紙に紛れ込まないようにする。

5. 集団回収感謝状及び特別活動賞贈呈団体の推薦

当組合から推薦基準及び運用基準に沿って各支部から計13団体を推薦する。

推薦期限8月29日(金)

エクセルデータにて事務局に送信する。

6. 各会議報告

(1) 総務財務委員会(6/20開催)

5/15の通常総会収支等の説明があった。

(2) 正副理事長・委員長合同会議(6/20開催)

7. 近代化推進委員会報告

(1) 経営革新委員会(5/9・6/11開催)

かんとう No.230 目次

編集人の後記	三紙会TWEET	業界人語	委員会トピックス 経営革新委員会	持続可能な経営を 推進するための調査サマリー	特集 六地区懇談会報告	三紙会報告	理事会報告	巻頭言
23	22	21	19	11	8	5	2	1



表紙の写眞

成田山新勝寺の裏手にある、東京ドーム約3.5個分にも及ぶ広大な日本式回遊庭園。

公園内は草木や自然にあふれ、仏教の生きとし生けるものすべての生命を尊ぶ、という思想が組み入れられ、公園全体を見れば不殺生を表す尊い生命をはぐくむ場となっています。

園内の各所には松尾芭蕉などの著名な文人たちの句碑があり、先人の足跡を感じられます。

〈渉外広報・IT委員会〉

段ボール原紙需給速報、古紙輸出実績、今後の古紙需給環境について報告があった。
段原紙在庫 68.7 万トン（適正在庫量 30 万トン）

(2) 需給委員会（5/28 開催）

海外視察（韓国・マレーシア・ベトナム）を行う。

(3) 三紙会（6/19 開催）

5 月度 裾物三品仕入実績 (31 社)

	前月比 (%)	前年比 (%)
段ボール	97.4	99.3
新聞	92.7	91.9
雑誌	84.6	93.5

(4) 渉外広報・IT 委員会

かんとう編集部会（6/12 開催）

229 号校正（7/20 発行予定）

230 号企画（10/20 発行予定）

原稿締切 8/20

各種統計資料

- 32 社古紙在庫月別報告書（2025 年 5 月）
- 財務省 貿易統計 古紙輸出の取りまとめ（2025 年 4 月）
- 日本製紙連合会 紙・板紙需給速報（2025 年 4 月）
- 日本製紙連合会 紙・板紙品種別生産・出荷・在庫高表〔暫定〕（2025 年 4 月）

◎次回開催予定 7 月 23 日（水）午後 3 時
（終了後暑気払い）

令和 7 年度 第 3 回 理事会議報告

開催日時 令和 7 年 7 月 23 日（水）

午後 3 時～ 4 時 20 分

開催場所 組合会議室

出席者数 理事 22 名 監事 1 名

議事要旨

1. 古紙持ち去り関係

(1) GPS 追跡調査実施状況

正規ルート 2 件（6 月理事会から本理事

会の間）

(2) 不当な古紙買い入れに関する事案

文案及び次の関係者への送付について承認された。

組合員・全原連各単組事務局・需給委員会輸出商社・古紙センター

また関東地区委員会あては依頼内容を一部変更した文案が承認された。

2. 各支部市況報告

（記載省略）

3. 賦課金の見直し

均等割とヤード数による差等割の組み合わせとし、来年 5 月の通常総会に提案することが決議された。年内に理事会で成案を取りまとめることになった。

4. 栃木県支部の運営体制の変更

本年 7/11 から新たに副支部長職を設置することになり、(株)坪野谷紙業の坪野谷悟輝社長が就任したとの報告があった。事務局も同社に置く。

5. 東京都知事時感謝状及び東京都中小企業団体中央会会長表彰の候補者の推薦

都知事感謝状については斎藤大介副理事長、近藤國宏理事、高橋德行理事、金澤基彦理事の 4 人を推薦することになった。なお会長表彰は交付要件を満たす候補者がいなかった。

6. 各会議報告

(1) 総務財務委員会（7/16 開催）

6 月末までの収支状況の説明があった。

事務局の夏季一斉休暇を 8/9（土）～ 8/17（日）とすることが報告された。

また一斉休暇中の緊急連絡先は専務理事とする。

(2) 正副理事長・委員長合同会議（7/17 開催）

7. 近代化推進委員会報告

(1) 経営革新委員会（7/10～12 開催）

段ボール原紙需給速報、古紙輸出実績、今後の古紙需給環境について報告があった。
古紙リサイクルアドバイザーテキストの作

成状況の説明があった。

(2) 安全防災委員会 (7/11 開催)

秋季リーフレットの図案の検討内容の説明があった。

新潟ブロックとの合同会議を9/26に開催し、次年度のポスターの図案に関する意見交換を行うとの報告があった。

今年度の安全衛生推進者養成講習は来年2/6・20に開催する予定。案内は本年11月頃に行う。

(3) 需給委員会 (6/25 開催)

6月の32社の仕入・出荷・在庫状況、輸出価格の動向が報告された。

(4) 三紙会 (7/22 開催)

6月度 裾物三品仕入実績 (31 社)

	前月比(%)	前年比(%)
段ボール	97.6	101.1
新聞	97.9	92.9
雑誌	90.6	95.7

(5) 渉外広報・IT 委員会

かんとう 229 号が7/20に発行された。

8. その他

- (1) 東京 23 区における事業系古紙に関する動き
特別区が老朽化した清掃工場の建て替え費用の調達やごみ減量の促進のために関係者のヒアリングを行っていることが報告された。

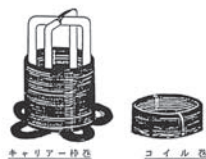
各種統計資料

- 32 社古紙在庫月別報告書 (2025 年 6 月)
- 財務省 貿易統計 古紙輸出の取りまとめ (2025 年 5 月)
- 日本製紙連合会 紙・板紙需給速報 (2025 年 5 月)
- 日本製紙連合会 紙・板紙品種別生産・出荷・在庫高表 [暫定] (2025 年 5 月)

次回開催予定

9 月 25 日 (木) 午後 3 時

二十一世紀の環境を守る。
信頼のパートナー。
古紙用ベラー番線。



最良の品質
豊富な在庫
万全なサービス

株式会社 櫻井

http://www.kk-sakurai.com/
〒116-0014 東京都荒川区東日暮里4-13-12
TEL 03-3803-3511
FAX 03-3807-8153

品名	単位	50	100	500	1,000
ベラー	1巻	50	100	500	1,000
ベラー	1巻	50	100	500	1,000
ベラー	1巻	50	100	500	1,000

WorkVision
Creating Value for The Future

お問い合わせ先
ビジネスソリューション営業第一部
営業担当：神崎 真樹
TEL: 03-4233-0945 FAX: 03-5463-1138
*旧社名 東芝ソリューション販売株式会社
2019年7月1日より社名変更となりました。

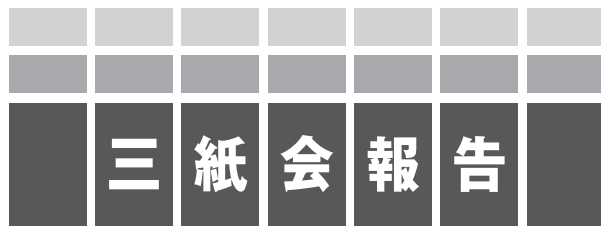
システムは「所有」から「利用」へ！

リサイクルシステム
クラウド版リリース

シンプルで
即戦力！

セキュリティと
災害に強い！

サーバ購入
・管理不要！



令和 7 年度 6 月 定例会

日 時：令和 7 年 6 月 19 日 (木)

11 時 00 分～12 時 00 分

場 所：浅草ビューホテル 4 階 言問

幹 事：川又 修・(株)新井商店

木ノ下 知宏・(株)須賀

報告者：新井 雄二・新井紙材(株)

出席社：22 社

【令和 7 年 5 月

裾物主要三品仕入実績報告 (31 社)】

[段ボール] 前月比 97.4% 前年比 99.3%

[新 聞] 前月比 92.7% 前年比 91.9%

[雑 誌] 前月比 84.6% 前年比 93.5%

【ブロック別仕入平均単価報告】

○各地区発表 () 内は前月比

平均単価：段ボール：10.41 円 (−0.03 円)

新聞：14.12 円 (+0.05 円)

雑誌：5.22 円 (−0.03 円)

【各委員会活動報告】

●業務委員会：

(1) パルプ市況報告

報告なし

(2) 上物古紙市況報告

[家庭紙] 引き続き製品値上げは後ろ倒しになっており、仮需は起きていない状況。7 月の岳排に向けた製品の積み増しは徐々に始まっているものの、買い控えムードも抜け出せず製品は膠着状態。岳排時に荷受けをすれば原料的には落ち着ける状況。一方で発生自体は激減しており、秋以降冬需に向けた原料調達に

各社危惧している。

[白板] 各社減産基調継続。上物古紙発生激減により、生産悪くても低位でバランス・ややタイトな状況。

白板・家庭紙とも、生産が少しでも上向くと関連古紙はかなりタイトになる。

●研究委員会：6 月新聞・チラシ重量調査の協力依頼

※定例会後、六地区懇談会を主管し、開催。

次回の三紙会定例会は【7 月 22 日 (火) 15 時 30 分～】

活動内容の予定は以下の通り。

○裾物三品仕入実績報告

○ブロック別仕入平均単価報告

○各委員会活動報告

※7 月度の定例会終了後、鈴木屋にて暑気払いを開催予定

令和 7 年度 7 月 定例会

日 時：令和 7 年 7 月 22 日 (火)

15 時 30 分～16 時 35 分

場 所：関東製紙原料直納商工組合 会議室

幹 事：新井 英樹・新井紙材(株)

望月 孝・市川紙原(株)

報告者：相田 寛文・(株)丸興佐野錦一商店

出席社：19 社

【令和 7 年 6 月

裾物主要三品仕入実績報告 (31 社)】

[段ボール] 前月比 97.6% 前年比 101.1%

[新 聞] 前月比 97.9% 前年比 92.9%

[雑 誌] 前月比 90.6% 前年比 95.7%

【ブロック別仕入平均単価報告】

○各地区発表 () 内は前月比

平均単価：段ボール…10.36 円 (−0.05 円)

新聞：13.99 円 (−0.13 円)

雑誌：5.26 円 (+0.04 円)

【各委員会活動報告】

●業務委員会：

(1) パルプ市況報告

報告なし

(2) 上物古紙市況報告

【家庭紙】製品荷動きが悪いまま夏場の不需要期を迎えている。製品値上げも足並みが揃わず、メーカーによって生産にばらつき有り。岳排SDに入り、白板大手からの古紙還流も強まるため原料調達には余裕あり。8月のお盆の生産も玉虫色で、減産の可能性が高まっている。一方、古紙発生激減により、調達意欲は依然として高いまま。

【白板】輸出向けは引き続き低調、製品値上げ打ち出しにより減産を強めている。雑誌を中心に古紙原料は潤沢。

●財務委員会：原価構成比調査の依頼。

●研究委員会：6月度の新聞・チラシ重量調査の結果報告。

●その他：11月下旬に開催予定の海外視察研修旅行について。

※定例会終了後、屋形船「鈴木屋」にて暑気払いを開催

次回の三紙会定例会は【8月28日(木)15時30分～】とする。

活動内容の予定は以下の通り。

- 裾物三品仕入実績報告
- ブロック別仕入平均単価報告
- 各委員会活動報告

令和7年度 8月 定例会

日 時：令和7年8月28日(木)

15時30分～16時50分

場 所：関東製紙原料直納商工組合 会議室

幹 事：足立 進・王子斎藤紙業(株)

井出 一之・井出紙業(株)

報告者：井出 一之・井出紙業(株)

出席社：16社

【令和7年7月

裾物主要三品仕入実績報告 (31社)】

[段ボール] 前月比 107.6% 前年比 100.2%

[新聞] 前月比 105.3% 前年比 94.9%

[雑誌] 前月比 106.3% 前年比 98.5%

【ブロック別仕入平均単価報告】

○各地区発表 () は前月比

平均単価：段ボール：10.32円 (-0.04円)

新聞：13.85円 (-0.14円)

雑誌：5.19円 (-0.07円)

【各委員会活動報告】

●業務委員会：

(1) パルプ市況報告 (7月積み対日価格)

[NBKP] \$ 価格 840 前月比 -10

[LBKP] \$ 価格 525～575 前月比 -20

[総括]

*中国マーケット：広葉樹パルプ (LBKP)・針葉樹パルプ (NBKP) とともに下落が続く、依然として低水準な価格帯での取引が行われている。そのため、各サプライヤーとしては、値上げのタイミングを逸しないような姿勢が続く。特にブラジルの大手サプライヤーは、7月受注分にて値上げを行うような動きを見せたが、中国ユーザーから強い反発を受け、値上げを一切受けない回答や注文数量を減らすような対応が見られたこともあり、受注数量を確保したいサプライヤーとしては、強引な値上げ交渉の姿勢を示せず、先月に続き、価格交渉は難航した。しかしながら、特にLBKPは低価格での取引が長引いており、南米サプライヤーを中心に値上げ交渉は今後も粘り強く行われると予想される。

*欧州マーケット：UPM社がフィンランドKaukas工場の9月末までの休転期間の延長を計画。NBKPの需要低調に加え、原料チップの価格帯が高値で推移していることが背

景にある。UPM 社は休転期間の間に市場の動向を観察し、今後の対応を検討する。同工場の NBKP 生産能力は、約 70 万 mt / 年となり、休転期間が延長となれば、マーケットがどのような影響を受けるか引き続き注視が必要となる。

＊北米マーケット：米国トランプ政権が、ブラジルからの輸入品に 50% の輸入関税を課す政策を掲げた。そのため、米国にブラジルから輸入されるパルプについても 50% の関税が課されることになれば、ブラジルから米国への輸出は現実的ではなくなり、販売先を失ったブラジルのパルプサプライヤーは中国へ積極的に販売せざるを得ないと想定される。その場合、足元を見た中国ユーザーが更なる値下げを要望し、価格下落に繋がるのが懸念されたが、結局、パルプについては 50% の関税の対象から外れ、従来の 10% 関税に留まったことから、本件に関する懸念は後退した。

[NBKP] LBKP に比べ緩やかではあるが、引き続き価格が下落中。そのため、UPM 社やメツツァ社は北欧工場にて休転期間の延長などで生産調整を行い、供給数量を制限することで価格上昇を目指している。

[LBKP] 受注数量を確保したいサプライヤーはユーザーとの値上げ交渉が難航し、下落基調は継続した。一方で、価格協力を行ったことで、ほとんどのサプライヤーは受注数量の確保に成功した。現在の価格が底値との見方が強く、8 月受注分は少なくとも \$10 の値上げで決着するとの予想も見受けられる。

(2) 上物古紙市況報告

[全体の状況] 2025 年上半期の紙・板紙の生産量は 1,055 万 t で、対前年度比 1% の減少であった。一方、古紙回収量は同 815 万 t で同 3.4% の減少、古紙輸出量は同 90 万 t で同 22.7% 減少。

[家庭紙] 製品値上げも未だ足並みが揃わず、10 月からが本命との声も聞こえてきている。メーカーの政策の強弱によってシェアが変動しており、生産もばらつきがある。白板・洋紙からの原料還流も続いており、全体的な生産も弱いため古紙在庫については潤沢をキープ。

[白板] 引き続き製品輸出が悪く、各社減産基調継続。製品値上げも成立させるべく、在庫減少意識も高い。使用する上物古紙の発生も低調ではあるが、生産がそれ以上に悪い印象。

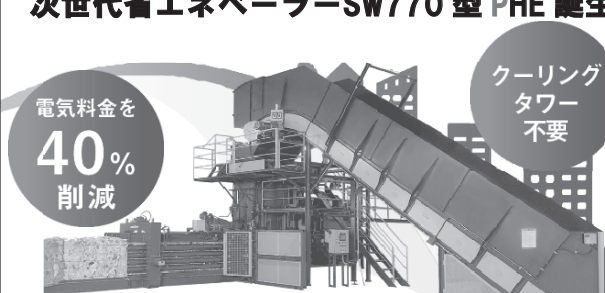
- 財務委員会：原価構成比調査の依頼。
- 研究委員会：9 月度の新聞・チラシ重量調査の協力依頼。
- 広報委員会：三紙会 tweet 執筆依頼。
- その他：11 月下旬に開催予定の海外視察研修旅行について

次の三紙会定例会は【9 月 29 日（月）15 時 30 分～】とする。

活動内容の予定は以下の通り。

- 裾物三品仕入実績報告
- ブロック別仕入平均単価報告
- 各委員会活動報告

次世代省エネペーラーSW770 型 PHE 誕生



電気料金を
40% 削減

クーリング
タワー
不要

株式会社 昭 和

本社 〒134-0091
東京都江戸川区船堀 2 丁目 23 番 21 号
電話 03-3689-0303 FAX 03-3689-0318

ペーラー番線

最良の品質・防錆OK
ートラブル、ロスが少ないー
50K・100K・500K・1000K

坂野興業株式会社

東京本社 TEL03-3718-7311 FAX03-3724-8170
浦安営業所 TEL047-354-6531 FAX047-351-5201
静岡営業所 TEL054-624-1101 FAX054-624-6704

六地区懇談会報告



.....

開催日：令和7年6月19日(木)

14時30分～17時00分

会場：浅草ビューホテル 4階 飛翔

出席者：[中部・中部ファイバークラブ] 11名、
[近畿・紙朋会] 3名、[中国・紙縁会]
4名、[四国・紙志乃会] 10名、[九州・
紙藍会] 6名、[関東・三紙会] 21名
来賓 関東製紙原料商工組合 藤川理
事長

報告者：(株)藤川紙業 金井 大輔

.....

1. 開会の辞 三紙会 平松会長

本日はお忙しい所、六地区懇談会に参加頂きありがとうございます。半年に一度、皆様と意見や情報交換を行えることを大変嬉しく思っております。業界としては古紙の発生減・人手不足と問題が山積みにあります。

そのような問題を皆様と協力して解決していく事が懇談会の目的にあります。また、懇談会の後半では、カーボンニュートラル実現に向けた業界の取り組みについて株式会社 斎藤英次商店の池田さんに脱炭素の取り組み事例を紹介頂きます。そして今回の会議で何かひとつでも業界に向けて発信していけたらいいと思います。



〔懇談会〕来賓挨拶 藤川理事長



六地区懇談会 各地区代表者

2. 来賓挨拶 関東製紙原料商工組合 藤川理事長

本日は六地区懇談会に東京までお越し頂きありがとうございます。私は25年程前より六地区懇談会に参加させて頂いております。この中にいらっしゃるメンバーでお父様の方々と仕事をさせて頂いた事があります。

アメリカの関税の影響を受けまして輸出事況も弱含みのなかで開催であります。活発な議論や意見交換の場になることを期待しています。

3. 各地区市況報告

各地区における「仕入価格」や「発生状況」などについて、発表があった。

総じて、古紙の発生減やメーカーの減産などへの対応に苦慮している。

4. コスト上昇への対応

- ・回収手数料の徴取や古紙の取引条件変更、様々な案が出ている。
- ・中部地区：配送への交渉や年末回収の条件変更などを実施。

回収先へ交渉、年末回収の条件変更、休日問題への対応。

- ・関西地区：人件費や燃料代の上昇率を提示し、回収費用の値上げを要請。7～8割は取引が継続している。
- ・中国地区：1時間あたり5,000円の回収料金設定、エリアごとのルート回収の実施

5. 今後の課題

- ・発生量の減少に対応した利益構造の見直し
- ・地域ごとの状況に応じた柔軟な対応の必要性
- ・コスト指標の公開方法に関する公正取引上の注意点

6. 行政からの補助金について

- ・岡山県で回収業者による補助金不正受給事件があり、2600万円の返還指導があった。

9月から新しい業者を探す動きがある。

- ・東京では集団回収と行政回収が二本立てで行われている。23区中20区で実施。

中野区では世帯数に応じた助成金を業者に支払う形式に変更。杉並区は業者への助成なし。

武蔵野市は団体に6円、業者に2円の助成。

- ・名古屋市では3社一体で実施。市況に応じて助成金額を調整。
- ・大阪市は自治会に対して15万から30万円の助成。30トン超で3年間の数量に応じて助成。
- ・福岡市は団体に6円、業者には助成なし。

7. 輸出事況

輸出においては、相互関税対策が影響しており、価格の下落、船が足りていない状況である。紙需要の主要国である中国の景気低迷を受け

て、東南アジア諸国の製紙メーカーも低調に推移しており、日本へのオファーも弱い状態

8. 株式会社 斎藤英次商店 池田 様より 脱炭素の取り組み事例紹介

配布頂いた資料に基づき、ご説明を頂く。



〔講師〕株式会社 斎藤英次商店 池田直樹氏

9. 人手不足と高齢化問題

- ・ 65 歳以上の従業員の継続雇用や業務内容の変更について議論された。
- ・ 若手の採用が難しく、高齢者の雇用継続が必要な状況が説明された。
- ・ ドライバー不足の解消策として、新卒採用、派遣業の活用、副業の活用などが挙げられた。
- ・ 免許取得支援や紹介制度、アプリを使った短時間勤務の募集など、様々な採用方法が共有された。
- ・ 車両の調達も問題になっており、納期が2年程度かかる状況が報告された。

10. 人材確保と雇用の課題

- ・ 中小企業では人材確保が困難。
- ・ 求人情報や派遣会社を通じた採用、お試し期間後の正社員化などの方法が提案された。

＊九州地区の取り組み

- ・ 60 歳以上の人材を中心に採用している。
 - ・ 現在の従業員の定着に最も力を入れている。
- 家庭を持つ従業員への配慮や福利厚生の実を図っている。

以上のように時間が足りないくらいに活発な意見交換がされ、三紙会 高橋副会長の閉会の挨拶で懇談会は終了。その後、会場を変更して懇親会が開催され、杯を重ねながら議論を深める中、次回開催地である 九州・紙藍会 大津会長の中締めで懇親会はお開きとなりました。



〔懇親会・中締め〕紙藍会 大津会長



懇親会の模様



特集 持続可能な経営を 推進するための調査サマリー

渉外広報・IT 委員会 委員長 斎藤大介

関東製紙原料直納商工組合（以下 関東商組）として「持続可能な経営」をテーマに、ヤード（古紙集荷事業所）の営業日や営業時間の見直しを進めている。その背景には、2つの要因があり、ひとつは古紙回収量の減少であり、もうひとつは、従業員の確保。

このサマリーは、持続可能な経営の推進を検討したものである。その方向性は、労働環境の改善と労働生産性の改善。改善を超えて経営改革と見ることができる、新たな経営モデルを模索するものである。

2024年度から2025年度にかけて関東商組は、東京・神奈川・千葉・埼玉・群馬・栃木・茨城の7地域・138社を対象に「ヤード営業日・営業時間に関する調査」を実施した。調査結果では、休業日を明確に設定している企業は約4割にとどまり、特に日曜日の完全休業は、自治体や排出元（スーパー、集団回収、産業廃棄物回

収業者）からの搬入があるため困難との意見が多かった。一方で、労働時間短縮やシフト制導入を進める動きが増えており、週休2日や年間休日105日を目標とする事業所も現れている。

支部別に見ると、東京西・多摩支部ではシフト制導入や時短営業の工夫が進み、従業員の休暇確保を図る動きが見られる。茨城県支部では全社が休業日を設定し、自動計量機の導入や無人荷受け化を検討するなど、DXによる効率化を先行的に推進している。これに対し、群馬県支部は休業日設定ゼロである一方、「休業導入により人員問題が改善する」との期待も強く、行政連携の必要性を訴えている。

調査ではまた、時短営業を導入している企業は全体の3～4割で、特に1月・8月・12月に多く見られた。現金対応に関しては、**土曜39%、日曜15%、祝日32%**と、需要に応じて柔軟な営業形態を取る企業が多い。さらに、若



手人材確保の観点から「働きやすい業界づくり」が全支部共通の課題となっており、古紙業界の社会的イメージ改善と労働条件の改革が求められている。

こうした結果を受け、関東商組は2025年5月26日の理事会において、年1回の定点観測（アンケート調査）を恒例化し、支部間での情報共有と標準化を進める方針を決定した。また、無人化・自動化を含むDX投資の検討を進め、持続可能な運営体制を業界全体で構築することを目指している。

今後の焦点は、「休業日の標準化」と「経営の

効率化」の両立である。自治体回収や顧客の稼働日と連動する業界特性上、完全な休業日は一律に導入しづらい。しかし、労働環境の改善を怠れば若年層の離職や人材流出が進み、事業継続リスクが高まる。そのため、シフト制による柔軟な勤務体系や、無人荷受け・自動計量などのデジタル技術を活用した省人化が不可欠となる。また、行政や排出元との協議を通じて、業界全体の「休日運用ルール」や「共同回収スケジュール」の整備も求められる。

関東商組では、こうした課題を踏まえ「DXを通じた業務効率化」「働きやすい職場環境づくり」「持続可能な収益構造の確立」を三本柱として掲げ、“持続可能な産業モデル”へ転換する取り組みが、今まさに始まろうとしている。

卸売業とサービス業

古紙問屋は卸売業とサービス業の機能を併せ持っているという意見が多い。「定休日を設けようではないか」を議論している場面で現れる意見だ。「サービス業の一面があるから定休日は難しい」という。

観点	卸売業	サービス業
事業の型	モノを仕入れて売る（BtoB 中心） 例：メーカー → 卸 → 小売店	サービスを提供する（BtoC 中心）例： 飲食店、美容室、介護、ホテルなど
価値の源泉	「モノを安く・早く・正確に届ける」 ＝物流と取引ネットワーク	「人の力で体験・満足をつくる」＝接客・対応・技術力
働く時間帯の特徴	早朝・深夜の物流が多い 日中は得意先対応	営業時間が長く、土日祝も稼働が多い 生活時間に合わせた勤務
休日のとり方	比較的カレンダー通り（年間休日 110～120 日が多い）	シフト制が多く、平日休みが中心（年間休日 100 日前後も多い）
有給のとりやすさ	事務職中心なら比較的取得しやすい	繁忙期・人員不足で取りづらい傾向

観点	卸売業	サービス業
時間外労働 (残業)	月 20 ～ 30 時間前後（物流繁忙期あり）	シフト管理次第。繁忙時は時間外が増えやすい
人手不足の 主な要因	倉庫・ドライバー・仕分け作業の担い手不足	接客・介護・飲食など、人の対応力が必要な業務の担い手不足
人手不足への 対策	倉庫自動化 ・ AI 在庫管理・共同配送など→「人を減らして効率化」	DX（予約・決済の自動化）、セルフ化、マルチスキル育成→「人が少なくても回る仕組み」
持続可能な 経営の方向性	脱炭素物流、在庫ロス削減、共同配送など→ 環境×効率の両立	働きやすい職場づくり、顧客体験価値の向上→ 人×満足の両立
経営の悩み	・ 利益率が低い（薄利多売） ・ 物流コスト上昇 ・ 取引先からの値下げ圧力	・ 人件費上昇・離職率の高さ ・ 人材教育コスト増
経営の打ち手	・ 倉庫・配送の自動化 ・ 共同配送 ・ AI 在庫管理 ・ 顧客分析で取引深耕	・ シフト最適化 ・ DX（予約・注文の自動化） ・ 定着率改善・キャリア育成 ・ 価格に見合う体験価値づくり

卸売業とサービス業の違いを論じてみたい。卸売業とサービス業には、対象とする顧客・事業構造・労働実態・経営課題の点で違いがあり、それぞれ「持続可能な経営」「人手不足対応」を考える際に重点を置くべき論点も異なる。

卸売業の持続可能な経営課題

卸売業は、メーカーと小売業をつなぐ中間機能として、仕入・販売・在庫・物流の最適化によって価値を生み出す。最大の特徴は「薄利多売」と「物流」。原価上昇や運送コスト、人件費の増加が直撃するため、効率化と自動化による生産性向上が最重要課題に。近年では AI 在庫管理、倉庫ロボット、共同配送の導入などによ

って省人化・省エネ化を進める企業が増えている。

また、脱炭素の要請により、トラック輸送の CO₂ 排出削減や再生可能エネルギーの利用、持続可能な調達などサプライチェーン全体の環境



対応が要求事項に。さらに、少子高齢化によるドライバー・倉庫作業員不足への対応も急務であり、シニア・外国人の活用、働き方改革、労働環境改善が求められる。

サービス業の持続可能な経営課題

サービス業は、顧客体験を直接生み出す人の力が中心の産業。飲食、宿泊、介護、教育、販売など多様で、共通するのは「労働集約型」であり、慢性的な人手不足に直面している。最大の課題は、人材の確保・定着・育成と、働き方改革の両立。勤務時間の不規則さや休日の少なさ、低賃金構造が離職の要因となっており、労働環境の改善が経営課題。

具体的には、シフトの最適化、DXによる業務自動化、セルフサービス化（無人レジ・予約システムなど）が行われている。こうした省人化と並行して、スタッフのモチベーションを高める仕組み（評価制度、キャリア形成、柔軟な働き方の導入）が計られている。

では、古紙卸売業は、卸売業なのかサービス業なのか。結論から言えば、「卸売業」と「サービス業」の両方の特性を持つ。

卸売業としての特性

古紙卸売業は、まず本質的に「再生資源の流通業」。つまり、製紙会社などの法人顧客に対して、古紙という「商品（資源）」を安定的に供給



することがビジネスモデル。この点で、一般的な卸売業と共通する特徴を持つ。

古紙を仕入（回収）し、仕分け・圧縮・保管して販売する「商流」。売上は取引量と単価（トン単価）で決まり、物の流れ（物流）と価格変動が利益に直結する。価格競争・在庫調整・物流効率が経営の鍵。仕入と販売の間にある「利ざや」が利益源泉。したがって、古紙卸売業は典型的な商流型・物流型の卸売業と言える。

サービス業としての特性

一方で、古紙卸売業は単なるモノの取引にとどまっていない。古紙は「廃棄物」と「資源」と認識されていて、回収・分別・処理・顧客対応などが不可欠であり、顧客（排出者）に対して回収サービスを提供している。回収の時間指定・定期ルート・分別支援など、オーダーメイド型の対応が多い。顧客満足（迅速な回収、清潔な現場、丁寧な対応）がリピート率に影響する。環境配慮・脱炭素・CSR対応など、社会的価値を提供する要素が強い。

「人手不足の問題」とは何か 「働き方改革」とは何か

古紙問屋業界では、古紙の回収・選別・運搬といった現場業務から、営業・事務に至るまで、慢性的な人手不足が続いている。人口減少と高齢化が進む中、労働力を確保することはすべての企業に共通する経営課題あるが、人手不足の



原因は大きく二つに整理できる。ひとつは「採用ができないこと」、もうひとつは「離職が多いこと」。

採用の側面では、賃金水準、待遇、評価制度などが応募意欲に強く影響する。研究によれば、賃金を1%上げると応募者数は約4.7%増加するという弾力性が報告されている。しかし、単に賃金を上げるだけでは十分ではなく、柔軟な勤務制度、社会的意義のある事業、安心して働ける職場環境など、「非金銭的価値」の提示が、採用力の決定要因となっている。

一方、離職の背景には、長時間労働、処遇の不公平感、健康問題、上司との関係、キャリア展望の欠如などがある。これらを是正するために政府が推進しているのが「働き方改革」。厚生労働省は、働き方改革を「働く方の事情に応じ、多様で柔軟な働き方を選択できる社会の実現」と定義した。つまり、働き方改革とは、単なる制度変更ではなく、社員が長く安心して働ける環境を整える「定着のための経営改革」である。

政府の施策は、長時間労働の是正、有給休暇取得の義務化、同一労働同一賃金、テレワークや短時間勤務の普及などがある。その目的は、人口減少下でも働く人が減らない社会をつくること、生産性を高めて賃金上昇と経済成長の好循環を実現すること。

たとえば、現場の省力化や安全対策への投資は、厚労省の「業務改善助成金」などの支援を

活用することで、賃上げと生産性向上を両立させることが可能となる。また、国交省が定める「標準的な運賃」や公正取引委員会の「価格転嫁ガイドライン」を活用すれば、上昇した労務費を正當に価格に反映させることもできる。これらの制度を上手に活用したい。

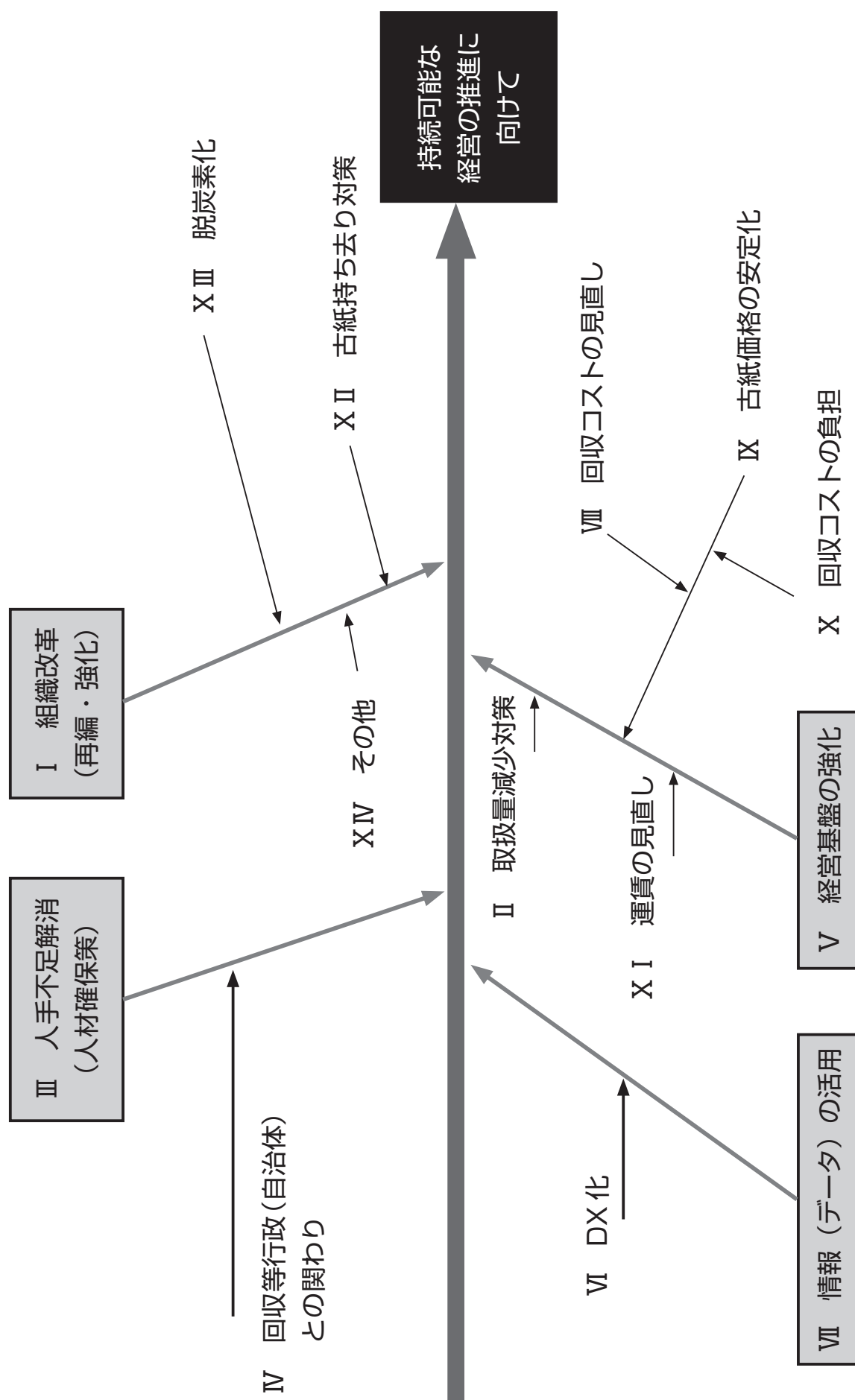
さらに、働き方改革を通じて社員が誇りと意欲をもって働ける環境を整えることが、長期的な競争力の源泉になり、勤続年数の長い社員が増えれば、ノウハウの蓄積、顧客との信頼関係、職場の安全・品質が安定し、結果として労働生産性が上がる。定着とエンゲージメントの向上が、働き方改革の成果であり、人手不足の根本的解決策となっている。

人が辞めない会社には共通点があり、公平な処遇、健康への配慮、仲間との信頼、そして「自分の仕事が社会に役立っている」という実感。再生資源を扱う私たちの事業は、環境保全・循環型社会の実現という社会的使命を担っているので、その意義を社員と共有し、誇りを持てる職場をつくることも、働き方改革と言える。

これからの時代、人手不足は避けられそうにない。しかし、働き方改革を自社の経営戦略として捉えれば、「人が集まり、人が育ち、人が残る企業」に変わることができる。政府の支援制度を積極的に活用しつつ、職場の魅力を高め、業界全体で“持続可能な働き方”を築いていきたい。



特性要因図（関東商組 持続可能な経営の推進に向けて）



関東商組 ヤード営業日・営業時間に関する支部別取りまとめ表

2025.6.12

事項別取りまとめ内容						
支部名	1 日曜日の就業状況 定休日 19/36 週により定休日 6/36 時短営業 9/36 通常営業 8/36 ※複数回答	2 土曜日の就業状況 定休日 3/36 (1 社荷受け停止 2 社は本社) 時短営業 3/36 通常営業 30/36	3 祝日の就業状況 通常営業 16/36 時短営業 14/36 休み 5/36 不定期営業 1/36	4 平日の営業時間 8時～17時 11/36 8時半～17時半 5/36 8時～18時 3/36 7時～17時 2/36 7時～18時 2/36 8時～16時 45分 2/36 9時～17時 2/36 など	5 自社回収 有 19/26 無 3/26	6 週1回の休業 日導入 16/26 賛同しない 4/26 回答なし 6/26 ※回答なしには 区域外を含む
東京東	7 自由意見 ・集団回収や排出元のニーズがある(排出元には24時間営業、年中無休等あり) ・シフト制で対応(シフト制の週休2日で問題なし) (シフト制で従業員の休みを確保) ・行政回収の受入は日曜日以外ない ・休業日の設定により作業効率や必要労働力の圧縮できると考える ・休業日の設定により他の日に負担がかかる ・顧客を失うおそれがある ・休業日の設定は業界統一でなければ徹底しないなど					
東京西	1 休業日の設定 有 11/26	2 休業日 日曜 7/26 祝日 1/26 年末年始 11/26 その他 1/26(土、週休2日) ※祝日荷受けの場合あり ※複数回答	3 設定できない理由 自社回収がある 4/26 業者持込がある 10/26 ※複数回答	4 時短営業 有 12/26 無 10/26 日曜 5時～17時 (4時～18時) 7時～16時 (7時～18時) 8時半～12時半 (5時～17時半) 祝日 7時～15時(16時) 8時～16時 (8時～17時) 年末年始 8時半～12時半 (5時～17時半)	5 自社回収 有 19/26 無 3/26	6 週1回の休業 日導入 16/26 賛同しない 4/26 回答なし 6/26 ※回答なしには 区域外を含む
東京多摩	1 課題 ・日曜日を休業するのは困難 理由：年中無休の排出元が多い ・集団回収が日曜日 ・日曜保持の回収業者、産廃業者による段ボールの受入市民の持込	2 取り組み ・土曜の回収を極力タタ方にする ・月曜の朝に回収(迷惑をかけない手法として) ・年間休日105日を目指す ・深夜早朝回収を減らす ・シフト制の導入による週休2日実施 ・週40時間労働 ・集団回収が日にある(減ってはいる)(社員数名で対応) ・時短営業(休業は難しい)	3 設定できない理由 自社回収がある 4/26 業者持込がある 10/26 ※複数回答	4 時短営業 有 12/26 無 10/26 日曜 5時～17時 (4時～18時) 7時～16時 (7時～18時) 8時半～12時半 (5時～17時半) 祝日 7時～15時(16時) 8時～16時 (8時～17時) 年末年始 8時半～12時半 (5時～17時半)	5 自社回収 有 19/26 無 3/26	6 週1回の休業 日導入 16/26 賛同しない 4/26 回答なし 6/26 ※回答なしには 区域外を含む
神奈川県	1 休業日の設定 有 15% 日曜は休業日 持込件数が増加した場合、休業日の解除を考慮する	2 休業日の月別設定日数 有 15.4% 毎週日曜は休業日 月に4～5日	3 時短日の設定 有 7.7% 無 92.3%	4 時短日の月別設定・ 短縮時間 有 30.8% 無 61.5% 無回答 7.7% 日曜は時短 8時半～16時 4～5日 5時間営業	5 現金対応 有 38.5% 土曜 15.4% 日曜 祝日 30.8%	

事項別取りまとめ内容					
支部名					
千葉県					
埼玉県	1 休業日の設定 有 14/38 無 24/38	2 休業日の月別設定日数 元日のみ 日曜のみ 各1 1(日) 土日 日祝 7 3 1 4 ~5日 3	3 短時の設定 有 11/38 無 27/38	4 時短日の月別設定・ 短縮時間 4日 1時間 2時間 5日 1時間 2時間 土日祝日 2~4時間	5 現金対応 有 土曜 22/38 日曜 10/38 祝日 14/38 その他 ・年末年始は半日営業 ・土日時短(土0.5時間 日2.5時間) ・日曜は事前予約制(無人台費) ・日曜はドライブのみ ・夜~早朝回収者には荷受け時間は止めない ・日曜は得意先のみ対応 ・日曜は回収業務(2~3名) 以外は休み ・休日持込みは事前予約 ・休日は定時より早めに閉店
群馬県	1 休業日の設定 有 0/5 無 5/5	2 休業日の月別設定日数 有 0/5 無 5/5	3 短時の設定 有 4/5 無 1/5	4 時短日の月別設定・ 短縮時間 日曜の時短 盆と正月	5 現金対応 有 土曜 3/5 日曜 3/5 祝日 4/5 その他 ・休業日が設定できれば人員問題の改善が期待できる ・行政と業界が連携して進めてほしい
栃木県					
茨城県	1 休業日の設定 有 9/9 無 0/9 日曜 7/9(ヤードによる) 第5日 1/9 年間計画 1/9	2 休業日の月別設定日数 日曜に設定 (第五日のみの場合も含む) (設定なしのヤードもある) 年間計画で決定	3 短時 有 7/9 ・日曜休業 祝日等は通常営業 ・日祝祭日は無人(自動計量)(月や翌日に処理) ・複数ヤードのうち1ヤードは日に行政回収 分を荷受け ・シフト制により週休2日に対応 ・日曜の行政回収は所長が対応 ・複数ヤード(日祝日 時短) (日祝日 休業 集団回収がない時) (日曜に行政回収があるため所長が対応) ・顧客から連絡がある場合荷受けすることもある ・日曜は閉めているが1人出勤 (回収・引き取りを行う) (平日に代休) ・最低でも月9日休暇(若い人材が辞めなくなつた)	4 その他 ・日曜の行政回収に対して地元組合を通じて要望書を提出する ・議論になった事項等 ・人手不足対策 ・給与のアップ 休日増 ・給与のアップのために労働分配率を上げる ・分配率を上げるには仕事を増やし利益を出す (人員削減は不可) ・車間距離を保って安定した収益 ・最低賃金 休日 有休が必要 ・自動計量機の導入を検討しているヤードもある	4 その他 ・日曜の行政回収に対して地元組合を通じて要望書を提出する ・議論になった事項等 ・人手不足対策 ・給与のアップ 休日増 ・給与のアップのために労働分配率を上げる ・分配率を上げるには仕事を増やし利益を出す (人員削減は不可) ・車間距離を保って安定した収益 ・最低賃金 休日 有休が必要 ・自動計量機の導入を検討しているヤードもある

今後検討・実施すべき対策例

- 1 古紙業界におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)とは具体的に何か 2 日・祝日におけるエリア単位のヤード協業化 3 設備投資資金の低利融資
- ・自動計量
 - ・無人荷受けシステム(自動計量・ヤードの機械管理など)

委員会 トピックス

経営革新委員会

鹿児島研修会



報告者 株式会社 新井商店 新井重樹

今年も委員会活動の一環として、移動委員会及び研修会を2025年7月10～12日に開催しました。本年の行き先は、鹿児島県鹿児島市と指宿市として、実施しました。

参加者は委員長である私、新井重樹、栗原護・副委員長、齋藤彰・副委員長、阿部貞二さん、近藤英彰さんの5名と特別参加の近畿商組の経営革新委員長の玉木康晴さんを含めた6名で実施しました。

鹿児島空港に到着して、リムジンバスで鹿児島市内へ、市内到着後、速やかに昼食をとり、鹿児島中央駅から指宿駅に向かいました。搭乗した電車は、「たまた箱」という名前のリゾート色の強い列車で、車中から錦江湾や桜島を眺めながら道中を楽しみました。

指宿駅から旅館の送迎バスに乗り、宿泊先の白水館へ。

白水館では、一風呂浴びる前に、今回の最重要テーマである古紙リサイクルアドバイザーテキストの編集、校正を旅館の会議室で1時間30分をかけて取り組みました。大分ボリュームがあるので、当初の予想通り、90分では終わらず、最終日の午前中に持ち越しになりました。

疲れた頭と体と心を癒すために、全員で旅館の温泉につかりました。

入浴後は、待ちに待った宴会タイムです。皆で親睦を深め、業界の課題や今後の委員会活動について、各自がお酒の力も借りて熱く語る楽しい場になりました。

2日目は、見聞を広めるための研修です。旅館をチェックアウト後、専用車で日本最南端の駅である西大山駅に向かい、駅のホームで開聞岳をバックに記念撮影をしました。その後、長崎鼻に行きました。

長崎鼻では、龍宮神社や灯台を見学、売店で芋焼酎の試飲と購入に勤しみました。その後、池田湖に立ち寄り、大うなぎを見て、鹿児島港へ、桜島フェリーに乗船して桜島に渡り、霧島神宮に向かいました。

霧島神宮は、天孫降臨の地とされる場所です。特に通常行く本宮でなく、古宮址は、神話の世界から抜き出てきたような迫力があります。古宮址は、本宮よりも8キロほど先の場所にあり、狭いつづら折りの道を通ったところにあります。古宮址は、鎌倉時代の1235年高千穂峰前の御鉢火山の噴火により、社殿等が焼失し、現在は、



たまたま箱



2日目朝食風景

当時の石造りの鳥居と石段が残るのみです。当時の本殿のあった真後ろの御鉢火山と高千穂峰が聳える景観が楽しめるのですが、生憎と当日は天候に恵まれず、深い霧でしたが、神秘的な雰囲気を感じられました。

霧島神宮の古宮址、本宮を参拝後に鹿児島市内へ。宿泊場所は、天文館通りにあるホテルに宿泊しました。夕食は天文館 吾愛人（わかな）本店で鹿児島料理を堪能しました。

3日目は、ホテルチェックアウト時間までは自由行動。11時にチェックアウト後に、天文館通りから巡回バスで、城山観光ホテルに行きました。

こちらの昼食場所で、初日の残り部分のテキストの編集、校正を90分をかけて行いました。しっかり完成して、8月の全原連経営革新委員会に提出できる段取りになりました。また、完

成できないと昼食は抜きになったのですが、ホテル内レストラン水簾で黒豚しゃぶしゃぶに辿り着くこともでき、充実した移動委員会及び研修会になりました。昼食時間が押してしまったので、ホテルからの巡回バスにギリギリに飛び乗り、鹿児島中央駅のリムジンバス乗り場へ向かい、リムジンバスで鹿児島空港、鹿児島を飛び立ち帰路に着きました。

今回は古紙リサイクルアドバイザーテキストを完成させる大きなテーマがあり、委員の皆さまと一致協力して完成させることができました。さらに鹿児島の地で委員の皆さまと時と場所を共有して、楽しい研修会を実施することができました。これからも、委員会の皆様と協力をして、業界の発展につながる活動をして参ります。最後になりますが、今回の会を開催できたことに御礼を申し上げます。今後ともよろしくお願い致します。



西大山駅ホーム



長崎鼻の灯台



「宜しくお願い致します」

(公財)古紙再生促進センター
関東地区委員長
王子エコマテリアル株式会社
代表取締役社長
諸隈 令介

2025年4月より、公益財団法人古紙再生促進センター関東地区委員長を拝命いたしました、王子エコマテリアル(株)の諸隈です。よろしくお願いいたします。

まずは、自己紹介をさせていただきます。1990年に王子製紙(株)に入社し、勤務地は北海道苫小牧市をスタートとして、東京→静岡県富士市→東京→札幌市を経て、本年4月に東京に戻ってきました。社会人になってから、やたら転勤・引越を繰り返したような気がします。

古紙の業務に本格的に携わったのは、王子マテリア(株)江戸川工場在籍時の2006年に機密文書処理の立ち上げに関わったのが始まりです。この時は機密文書調達量の計画が1,000t/月でスタートしたのですが、処理設備ができたからといって、すぐに原料である機密文書を調達できるはずありませんでした。計画スタートの半年後に何とか100～150t/月の調達量になる位で、社内では目標達成率10%台として毎月吊り上げ状態で非常に苦労しましたが、当時、取引

があった古紙業界の多くの方々の暖かいご協力・ご支援のおかげで、3～4年後には目標とする1,000t/月の調達を達成することができました。

その後、2011年から王子エコマテリアル中部調達部、2017年から王子斎藤紙業へ出向、2022年から王子エコマテリアル北日本調達部での業務を経験して、2025年4月に王子エコマテリアルの社長に就任いたしました。

私が古紙調達を担当した約20年間で、リーマンショック、東日本大震災、新型コロナウイルスの蔓延などさまざまな出来事があり、古紙を取り巻く環境も常に変化し続けました。

また、国内製紙メーカー生産量減少の影響を受け、2014年以降、国内の古紙回収量は残念ながら11年連続で減少している非常に厳しい状況下にあります。少しでも古紙業界発展のお手伝いができればと思っておりますので、これからも皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新聞雑誌選別、さらに革新。

紐切装置付選別コンベヤーライン

ヤードスペースに合わせ、自由にレイアウト。

営業品目

- 各種破袋装置
- 古紙梱包機投入用コンベヤー
- 空カン・空ビン選別コンベヤーライン
- 各種シュレッダー投入用コンベヤー
- 再生資源産業用各種コンベヤー
- 各種省力機械設計・制作



株式会社 拓己技研

〒444-0937 愛知県岡崎市島坂町字川田5番地3
TEL (0564) 64-3692 FAX (0564) 64-3693

デジタルロードセル式トラックスケール

高精度・低価格・短納期 5t～100t 各種計量管理システム

鎌長製衡株式会社

<http://www.kamacho.co.jp>

本社・工場	TEL(087)845-1111(代)	FAX(087)845-7442
東京支店	TEL(03)3243-2080(代)	FAX(03)3243-2081
大阪支店	TEL(06)6339-0131(代)	FAX(06)6339-0139
名古屋支店	TEL(052)586-1451(代)	FAX(052)586-1467
九州支店	TEL(092)281-5328(代)	FAX(092)281-3822
中四国支店	TEL(087)845-1140(代)	FAX(087)845-7442

三紙会 TWEET 古〇〇〇

株式会社ナコジ

川嶋 秀明



昨年暮れから空き家となっている築45年の実家を、妹夫婦と相談し、売却することにしました。

春先より、妹らと家の中を片付け始め、食器や衣類をバザーに送ったり、自治体のごみ収集に予約して、120袋程出したりしましたが、数十年と積み上げた品々は、月1回程度の作業では中々片付きません。

ましてや、懐かしい写真や本などが見つかり、つい見入ったりしてしまい・・・。

ここはもう見切りをつけてと、残りの家財処分を含めて実家じまいすることにし、8月に入ってから、不動産会社に古家ありの売却物件として、情報サイトに公開してもらいました。

以後は、不動産会社より定期的に販売活動報告なるものがされるそうですが、この寄稿が「かんとう」に掲載される頃、「古家」はどうなっていることでしょうか・・・。

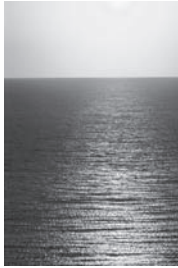
お題が古〇〇〇と出され、この業界にいる人は古紙回収しか出てこないのではと思うほど古紙回収しか出てこず何か別のワードにこだわっていたら投稿期限を過ぎてしまいました。初めての三紙会ツイートということもあり考えすぎて困り果てました。古〇〇〇〇という四字熟語だとまず古今東西という言葉が最初に浮かぶのではないのでしょうか？業界では昔は平ボデーのトラックに山のように段ボールを積んだ写真を見たり先輩の話を聞いたりしましたが、私が入社した時にはすでにパッカー車で段ボールを回収業務は当たり前になっていました。私の義理の父は産廃の会社を経営しているのですが、「多摩地区じゃ俺が初めて段ボール用のパッカーを導入したんだ」と同じ話をよく



株式会社 大久保

尾花 健太郎

聞かされます。古紙業界も電子化や業務の効率化を図る為に最新のAI技術を取り入れ時代と共に進化してきています。それでも回収や選別作業は人の手で行うもので大変な作業の為、まだまだ人材不足の影響を解消することができません。若手に魅力のある業界を目指し、日々精進したいと思っています。今も昔も我々業界人の「古紙回収」という言葉は永久に不滅です！



の後記



編集人

編集長は睡眠時無呼吸症

近年、睡眠の質が健康に与える影響が注目されている。私自身、夜中に何度も目が覚め、朝起きてても疲れが取れない日々が続いていた。

先日、入院して一晩の睡眠検査を受けた。頭から足まで全身に計測器を取り付けた。結果は衝撃的だった。睡眠中の無呼吸・低呼吸は合計 296 回、1 時間あたりに換算すると 38.9 回。最も長い無呼吸はなんと 105.5 秒にも及び、血中酸素飽和度は 62% まで低下していた。判定は「重症」。眠っている間に、これほど何度も呼吸が止まっていたとは想像もしなかった。

これまで、朝のだるさや頭の重さを年齢のせいだと思っていた。しかし実際には、睡眠中に体が何度も酸欠状態に陥っていたのだ。放置すれば高血圧、動脈硬化、心疾患のリスクが急増すると医師に告げられ、背筋が凍った。

治療は、鼻に装着する CPAP（持続陽圧呼吸）装置を用いる方法だ。最初は違和感があったが、続けるうちに目覚めがすっきりし、昼間の集中力も戻ってきた。睡眠が整うと、体だけでなく心も軽くなる。以前の編集後記で「筋トレ」「血圧」「姿勢」について書いた。

筋トレや姿勢づくり、血圧管理と同じく、



睡眠もまた「鍛える」ものだと気づいた。良質な睡眠は最高の回復法であり、生命の基本である。無呼吸を克服し、深い眠りの中で体と心をリカバリーする。

人生の質は、睡眠の質に比例するらしい。今回の診断は、恐ろしい現実を突きつけられたようでいて、同時に自分を見直す大きな機会となった。

（編集人／斎藤大介）

さがみ 雑がみさまを探せ!



雑がみさま

「雑がみ」に宿る小さな神さま

せいべつ

ふめい 不明

ねんれい

いじょう じつは 2000 年以上生きているらしい…

ひみつ

頭の上に乗っているのは古紙（こし）で、これがないと元気がなくなるんだとか…

すく 雑がみさまを救え!

紙箱や学校からのプリント、紙の芯などは「雑がみ」と言うリサイクルができる大切な資源です。しかし今、たくさんの雑がみがごみとして燃やされています。みんなの力を合わせて燃えるごみの中から雑がみを救い出そう!



やんぱん!

① さがす



みのまわりにある「雑がみ」を探そう!

② あつめる



みつけた紙はもらった紙袋に入れて集めよう!

③ だす



紙を袋に入れたら資源回収に出そう!

※集めた雑がみはお住いの地域の分別区分に従って排出してください

あつめる紙はこれだ!



《紙箱》

- ・お菓しの箱
- ・ティッシュの箱
- ・おもちゃの箱など



《プリント》

- ・学校からのプリント
- ・コピー用紙
- ・投げ込みチラシ



《紙の芯》

- ・トイレトペーパーの芯
- ・ラップの芯



《包装紙 ほか》

- ・使い終わったノート
- ・紙製のファイル
- ・包装紙など…

ま 混ぜてしまうと困る紙たち

紙は紙でもリサイクルできない紙があります。それが「**禁忌品**（きんきひん）」です。

これらが混ざると大きな問題になります！

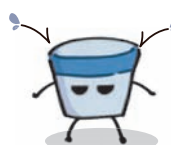
レシート



混ぜてしまうと新しい紙にはん点ができてしまうよ！

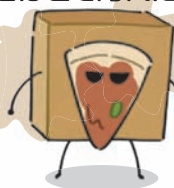
ぼうすいかこう

防水加工された紙



リサイクルするとき、水で分解できなくなるよ！

よご 油はどて汚れた紙



油や食べかすがまざると紙の品質が悪くなるよ！

つ においの付いた紙



新しくできた紙ににおいが移ってしまうよ！

写真



とくべつな紙だからリサイクルができないよ！

あつめられた紙たちはどうなるの？



あつめられた雑がみは工場に運ばれて、新しいお菓しの箱やティッシュ箱、トイレットペーパーや段ボールなど、新しい紙の製品に生まれ変わります。そうして雑がみはすがたを変えてみんなのもとへ帰ってくるのです。

きょうりょく ぜひご協力ください

家庭から出ているごみの約3割が

リサイクルできるはずの紙だったという調査結果があります。

自治体におけるごみの処理費用削減やCO₂排出量削減のためにも、

可燃ごみに捨てられている「雑がみ」を回収・分別し

リサイクルすることが大切です。

雑がみ回収へのご協力よろしくお願いいたします。



この活動は大阪大学大学院経済学研究科
松村真宏教授（仕掛学）との連携によるものです。

公益財団法人
古紙再生促進センター



紙緑会
共同制作

令和
7年度

昭和100年 終わりに安全

秋の安全作業月間



- 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
- 11 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
- 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
- 1 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
- 2 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28
- 3 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31



全国製紙原料商工組合連合会

